

(様式1)

令和8年度 学校経営計画書

石川県立小松北高等学校

学校長 三藤 直哉

1 教育目標

- ① 能力、個性を伸ばし、意欲的に学ぶ人間の育成
- ② 広い視野と社会性に満ちた人間の育成
- ③ 自らの生き方を見つめ、自立できる人間の育成

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 「働きながら学ぶ学校」としての役割とともに、不登校経験者や他校からの転編入生、外国にルーツを持ち日本語の支援が必要な生徒等、多様な生徒への対応が求められている。
- ② 様々な課題を抱えている生徒も少なくないが、教員の指導を素直に受け入れる生徒が大半である。
- ③ 自分に自信が持てず、自己表現することが苦手なため、生徒同士や教職員とのコミュニケーションに悩む生徒も見られる。
- ④ 夜間部、午前部、午後部の3部制と、単位制、2学期制、3修制、定定併修や定通併修等の柔軟なシステムを活用し、生徒一人一人が個別最適な学びの実現を通して社会で自立できることを目指している。
- ⑤ 自然災害等に対する危機管理体制及び防災教育の充実による安心・安全な学校づくりの強化が求められている。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 学習意欲の向上と基礎学力や基本的な知識の定着を図り、一人一人の力を最大限伸ばす。
- ② 基本的な生活習慣の獲得と社会性の向上に努めるとともに、安全を意識して行動する生徒を育成する。
- ③ 自己理解を深め、望ましい勤労観、職業観を育成する。
- ④ 不登校経験者や多様な悩みを持つ生徒にきめ細かな指導・対応を行い、「人間力」を育成する。
- ⑤ 地域との連携を図り、ボランティア活動等を通して、郷土に貢献する意欲を持った生徒を育成する。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 教育目標の具現化に向け、組織的・計画的な学校運営を行う。
- ② 基礎基本の定着を目指した授業の実践に取り組む。
- ③ 学校安全の確保のため、教職員の危機管理意識を高めるとともに、不測の事態においても適切に対応できる学校組織を目指す。
- ④ GIGA スクール構想の実現による学びの質の向上のため、一人一台端末を効果的に活用し、きめ細やかな指導・支援を目指す。
- ⑤ 本校の教育活動を保護者、地域、中学校、教育関係機関等に広報し、理解と連携を深める。
- ⑥ 教職員の多忙化の改善に向け、全職員で意識改革を図るとともに、保護者や地域の理解や協力を得ながら取組を進める。

3 今年度の重点目標

- ① 教職員は、多様な生徒・保護者に対応できるよう様々な研修等で指導力を向上させ、生徒個々に応じた「確かな学力」の定着を目指す。
- ② 生徒が主体となる活動を充実させ、基本的な生活習慣の確立と社会性の向上を目指す。
- ③ 授業や進路行事、個人面談等を通して、早い時期から進路意識や自己肯定感を高め、望ましい勤労観、職業観を育成し、進路実現を目指す。
- ④ 日頃から教職員の危機管理意識を高め、不測の事態へ備える。
- ⑤ ワークライフバランスの推進という観点から、業務の精選および効率化を進める。